

第5回「科学する心」を見つけよう フォトコンテスト 入選発表

公益財団法人ソニー教育財団（理事長：中鉢良治）は、「科学する心」を見つけようフォトコンテストの選考結果を本日発表いたしました。

第5回目となる本コンテストでは、保護者が撮影した「子どもたちの感動や探求の姿が伝わる写真」を募集し、全国より301件の応募がありました。保護者が日常の中で子どもに寄り添い視線を向けることで、子どもの興味・関心に気付いている魅力的なショットを多数いただきました。どの作品からも、保護者が温かいまなざしで子どもたちの姿を見守っている様子が伝わってきます。審査委員会による厳正なる審査の結果、「科学する心賞」（1作品）、「いきいき賞」（9作品）、「きらり賞」（35作品）合計45作品が選ばれました。

入選作品は、当財団のホームページに掲載しております。また今年も全国の科学館やソニーグループの施設等と連携した写真展を開催する予定です。

【入選作品】

◆科学する心賞（1作品）※敬称略

ソニー製 HD デジタルビデオカメラまたはデジタル一眼レフカメラを贈呈



「変ボイス」

（愛知県・3歳3ヶ月、6歳4ヶ月）

応募者：joji67

応募者コメント：

扇風機で、声が変わるのが楽しくて、
2人とも夢中でした。

審査委員コメント：

扇風機の風を受けて立った髪の毛の様子や楽しそうな表情から、まるでその場の声が聞こえてきそうです。私たち大人も子どもの頃に、一度はやってみたことがあるのではないのでしょうか。子どもの好奇心の原点を感じる、温かさのある写真です。ふたりが一生懸命本気で試している姿は、まさに「科学する心」と言えるのではないのでしょうか。

◆いきいき賞（9 作品）※順不同、敬称略

ソニー製 デジタルスチルカメラ又はデジタルフォトフレームを贈呈

「ここだけ見えるね！」りし（宮城県）／「ママのと違う」よっしー（愛知県）／
「まるがいっぱい」れもん（埼玉県）／「カタツムリさんこんにちわ！」加藤一郎（神奈川県）／
「水 つかんだよ！」makaho（和歌山県）／「何が入っているのかな??」よっぴー（兵庫県）／
「逆さまっ！」メグ（福島県）／「息を殺して」るいパパ（神奈川県）／
「なんにんいるかな？」ウメさん（静岡県）

◆きりり賞（35 作品）アルミ製フォトフレーム（ソニーロゴ入り）を贈呈

【 審査総評 】

今年、全国から応募頂いた皆さんの作品を拝見し、写真の構図やテーマ設定など、回を重ねるごとに明らかに作品のクオリティが高くなっていると実感しました。子ども達が何かをじっと見つめ、あたかも対象と一体となっている姿は「科学する心」の原点です。子ども達をしっかりと見つめる事を通してその姿を捉え、子どもと共に楽しむ保護者の方々を増やしたいという私どもの願いが着実に実現していることを実感しました。

一瞬を捉えることに終わるのではなく、この事をきっかけとして子ども達の好奇心をはじめとする「科学する心」をどうやって広げ、育てていくかを考え、実践していくきっかけとなることを心から願っています。

来年以降も継続してご応募いただき、成長と共に子ども達が何に興味をもち、どんな表情を見せてくれるのかを、皆様の作品を通して拝見することを楽しみにお待ちしております。

【 審査委員 】※敬称略

<審査委員長> 盛田 昌夫 (株) ソニー・ミュージックエンタテインメント代表取締役会長、
(株) ソニー・ピクチャーズエンタテインメント代表取締役
<審査委員> 町田 和子 社会福祉法人湘北福祉会 あゆのこ保育園 園長
八木 義順 撮影家
露木 和男 早稲田大学 教育・総合科学学術院教授
桐原 保法 公益財団法人 ソニー教育財団 副理事長

ソニー教育財団の活動について

ソニー教育財団（理事長：中鉢良治）の願いは、子どもたちが、自然から学び、他の人を思いやり、愛する心と豊かな感性を身につけ、そして、夢を持ち、未来を切り拓く人に育つことです。こうした願いを実現するために、科学を通して、好奇心や創造力を伸ばし、勇気をもって新しいことに挑戦していく子どもたちを育てることに情熱を持って取り組む人たちと学びの場を支援します。

1972 年の設立当初より小・中学校を対象に教育助成（現：「ソニー子ども科学教育プログラム」）を行っています。2001 年に幼児期の豊かな感性と創造性の育成を願い「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始し、2012 年で 10 周年を迎えます。また、2,000 名を超える全国の小・中学校の先生方の自主的な研究組織である「ソニー科学教育研究会（SSTA）」をはじめ、先生方の研究・研修活動を支援しています。さらに新たな活動として、2005 年に小・中学生を対象にした「科学の泉—子ども夢教室」、2007 年からは「ソニーものづくり教室」、ソニー科学教育研究会と海外の科学教育研究組織との交流の支援を始めました。2009 年、ソニーの教育助成活動は 50 周年を迎えました。2011 年、公益財団法人に移行しました。



<本件に関するお問合せ> 公益財団法人 ソニー教育財団 山崎・樋口
TEL03-3442-1005 FAX 03-3442-1035 <http://www.sony-ef.or.jp/>
〒140-0001 東京都品川区北品川 4 - 2 - 1